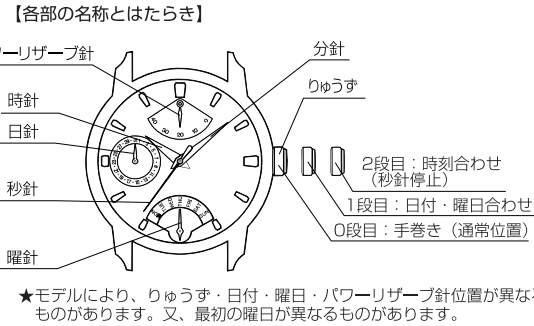


この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この時計を末永くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

- ご使用になられる方や他の人への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、次の表示で区分されている内容につきましては必ずお守りください。
- 危険** ... この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- 警告** ... この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** ... この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

- ① この時計は、自動巻き（手巻き付）機械時計です。
- ② 時刻表示の他に、日付（針表示）、曜日（針表示）、パワーリザーブインジケーターが付いています。
- ③ 曜日はシフトモード表示です。
- ④ 秒針停止装置が付いています。
- ⑤ てんぶを衝撃から守る、耐震軸受を使用しています。
- （１）機 能...時・分・秒針、日付、曜日、パワーリザーブインジケーター
- （２）振 動 数...2 1,6 0 0 振動／１時間
- （３）精度日差...+ 2.5 秒～- 1.5 秒
- （４）駆動方式...ぜんまい巻（自動巻）
- （５）石 数...2 2 石
- （６）持続時間...4 0 時間以上
- ※ 精度日差は室温において、ぜんまいを全巻にし、文字板上で静止した状態で、2 4 時間経過した時の日差です。
- ※ 自動巻機械時計の特性上、ご使用になる条件（携帯時間・時計の姿勢・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ具合等）によっては、精度日差の範囲を超える場合があります。
- ※ 製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。



- 【自動巻き（手巻き）機構について】
- ① この時計は自動巻き（手巻き付）機械時計です。
- ② ぜんまいは時計を腕に付けた状態で通常の腕の動きで自然に巻くことができます。又、りゅうすを回してぜんまいを巻くこともできます。
- ③ 止まっている時計をご使用になるときは、時計を振るか、りゅうすを回してぜんまいを巻いて始動させてください。秒針が動き出したら日付・曜日・時刻を合わせてください。
- ④ ぜんまいを巻く際にはりゅうすを右回り（時計回り）にゆっくり回してください。なお、りゅうすは左回り（反時計回り）では空転するようになっています。止まっている状態からは、りゅうすを約20回転させれば十分に巻き上げることができます。巻き上げが完了してもりゅうすは回りまわすので、パワーリザーブインジケーターの目盛りを目安に巻いてください。
- ⑤ この時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態で約40時間動き続けます。ぜんまいの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、精度を保つために1日8時間以上携帯することをおすすめします。

◆ 時刻及びカレンダーの合わせ方

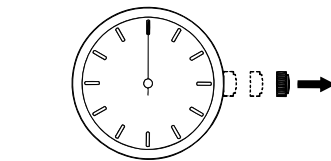
【ねじロック式りゅうすモデルの場合】

商品によっては、りゅうすをケースにねじ込むことでロック（固定）できる構造のモデルがあります。このタイプの時計については次の操作方法を行ってください。

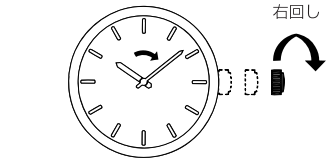
① カレンダー、時刻合わせ時は、先にりゅうすを左に回して、ねじを緩めてから行ってください。

② カレンダー、時刻合わせ終了後は、りゅうすを押しながら右に回して、ねじが止まるまでしっかりと締め込んでください。

【時刻の合わせ方】

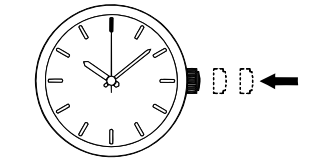


① 秒針が12時（60秒）の位置にきた時、りゅうすを2段目まで引き出します。（秒針は停止します。）



② りゅうすを右に回して現在の時刻に合わせます。※ りゅうすを針の進む方向に、日付が変わるまで回してください。日付が変わったときが「午前」となります。さらに進めて現在の時刻に合わせてください。

※ 時刻を合わせる際には、針を一旦正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。



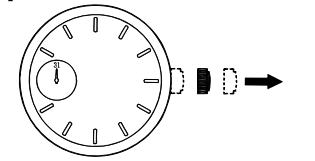
③ 時刻と同時にりゅうすを通常の位置（0段目）まで押し込みます。

【カレンダーの合わせ方】

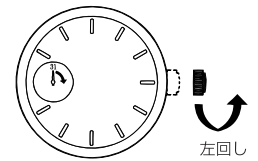
△ 注意

※ 時刻が午後10時から午前4時までの間は日付・曜日の切替作中ですので、日付・曜日合わせは避けてください。この時間帯に日付・曜日を合わせると、翌日になっても切り替わらないことや故障の原因となる場合があります。日付・曜日合わせを行う場合は、この時間帯に針を移動させてから行ってください。

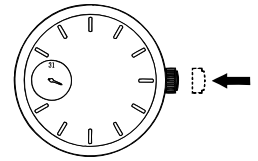
【日付の合わせ方】



① りゅうすを1段目まで引き出します。※ この時計のりゅうすは2段に引けます。



② りゅうすを左に回して今日の日付に合わせます。



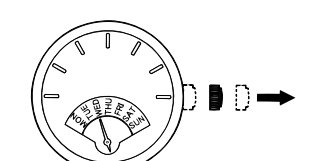
★日付、りゅうすの位置は、モデルによって異なります。

③ りゅうすを通常の位置（0段目）まで押し込みます。※ 引き続き曜日合わせを行う場合はりゅうすを押し込まずに曜日合わせを行ってください。その際の手順は【曜日合わせ】の⑤からになります。

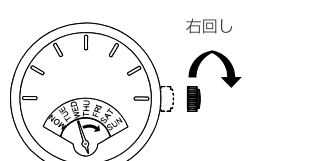
【曜日の合わせ方】

④ 曜日の動きについて

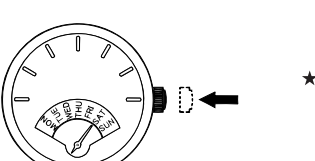
シフトモード表示の特徴として最後の曜日から先頭の曜日まで戻るときに、針は瞬時に移動します。曜日合わせの際はりゅうすをゆっくり回して曜日を合わせてください。



④ りゅうすを1段目まで引き出します。※ この時計のりゅうすは2段に引けます。



⑤ りゅうすを右に回して今日の曜日に合わせます。



⑥ りゅうすを通常の位置（0段目）まで押し込みます。

◆ パワーリザーブインジケーター

パワーリザーブインジケーターとは、ぜんまいの巻き上げ状態を時間で示し、残り駆動時間がひと目で解かる機能です。ぜんまいの巻き上げ残量の表示はパワーリザーブ針によって表示していますので、針の指す時間が巻き上げ残量時間です。

※ このぜんまいの巻き上げ残量時間はあくまでも目安ですので、表示の時間と実際の残量時間には差がありますので予めご了承ください。本製品は自動巻の製品にパワーリザーブインジケーター機能を備えていますので、腕に付けている間は腕の動きにより、ぜんまいが常に巻き上げられ、パワーリザーブ針の表示は全巻き（40H）方向を表示しています。なお、腕の動きによりぜんまいの巻き上げ量は異なりますので、常に全巻き方向を表示しているとは限りませんのでご了承ください。腕から外し、ぜんまいを巻き上げなければ時間の経過とともにパワーリザーブ針の表示はゼロ方向へと移動します。

又、本製品は手巻き機構が付いているので、りゅうすを回してぜんまいを巻くことによりパワーリザーブ針は全巻き（40H）方向に移動します。

◆ お取り扱いにあたって

（１）防水性能について

△ 警告

防水性能	表示	水中でのりゅうす操作	一時にかかる水滴	水泳・水仕事	空気をボンベ	空気をボンベ	ヘリウムガス
非防水時計	WATER RESISTANT	表示なし	×	×	×	×	×
日常生活防水	WATER RESISTANT	5bar	×	○	×	×	×
日常生活強化防水Ⅰ	WATER RESISTANT	5bar	×	○	×	×	×
日常生活強化防水Ⅱ	WATER RESISTANT	10bar/20bar	×	○	○	×	×
潜水防水	AIR DIVERS	100m/150m/200m	×	○	○	○	×
ヘリウムガス	He-GAS DIVERS	200m/300m...	×	○	○	○	○

WATER RESIST(ANT) **barは、W. R. **barと表示している場合があります。

※ 時計の文字板または裏蓋にある防水性能表示をご確認の上、上記使用範囲にそって正しくご使用ください。

△ 注意

- ④ りゅうすは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうすがねじロック式のものであれば、しっかりと締め込まれているか確認してください。
- ⑤ 水中あるいは水分がついたままりゅうす及びボタン操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ⑥ 非防水時計については、一時的にかかる水滴（洗顔時の水はね・雨など）や汗にはご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- ⑦ 日常生活防水時計でも、勢いのある水道の水を直接あてるなどのことは避けてください。防水性能を上回る水圧がかかり防水不良となる場合があります。
- ⑧ 日常生活強化防水時計の場合、海水中に浸った後は、ケースについた海水をよく洗い流し、洗った後はよく拭き取りサビなどが出ないようにしてください。
- ⑨ 皮革バンドは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響がでる場合があり、脱色・接着はがれなどの不具合も起こることがありますので、特に水の中で使う場合には、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）をお取り替えの上、ご使用ください。
- ⑩ 時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の温度より低いときにはガラス面がくもる場合があります。くもりが一時的な場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合や時計内部に水分が入っている場合には、そのまま放置せず、ご購入店、又はお客様相談室にご相談ください。

（２）ショックについて

- ① ゴルフなどの軽スポーツによる影響はありませんが、激しいスポーツの場合は取り外してください。
- ② 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。



（３）磁気について

① 家庭用電気製品程度の磁気には心配ありません。

△ 注意

- ② 磁石、磁気健康器具（肩こり治療器・腕輪など）、電気マージャン台などの強い磁気が発生するものには、近づけないでください。
- ③ 時計にANTIMAG. I 又はANTIMAG. II と表示している時計は磁気に耐えられる性質を強化してあります。表示と耐えられる磁界の強さは以下の通りです。
- ANTIMAG. I ... 4,800A/m (60 Gauss)
 - ANTIMAG. II ... 16,000A/m (200 Gauss)
- ④ 強い磁気が発生する所に長時間放置しますと部品が磁化して、故障の原因となることがありますので、ご注意ください。
- ⑤ 磁気の影響を受けると一時的に進み遅れが生じることがありますが、磁気から遠ざけると元の精度で動きます。この場合は時刻を修正してください。

⑥ 発生する磁気の強さは表を参考にしてください。

製品名	磁界の強さ (単位: A/m)	判 定	磁界の強さ (単位: A/m)	判 定
鉄止め用磁石 (DC)	23,900~71,600 (300~900 Gauss)	×	200~1,200 (2.5~15 Gauss)	×
テレビ (AC-DC)	500~1,200 (6~15 Gauss)	○	0~400 (0~5 Gauss)	○
冷蔵庫の開閉部磁石 (DC)	31,800~63,700 (400~800 Gauss)	×	400~3,200 (5~40 Gauss)	○
電話機のスピーカ一部 (DC)	2,400~3,600 (30~45 Gauss)	○	300~400 (4~5 Gauss)	○
電気カミソリ (AC)	6,400~11,900 (80~150 Gauss)	×	400~800 (4~10 Gauss)	○
音響製品のスピーカ一部 (DC)	600~20,000 (8~250 Gauss)	△	0~3,200 (0~40 Gauss)	○
各種家具の開閉部磁石 (DC)	47,800~63,700 (600~800 Gauss)	×	800~1,200 (10~15 Gauss)	○
磁気パッド (DC)	47,800~63,700 (600~800 Gauss)	×	0~240 (0~3 Gauss)	○
磁気ネックレス (DC)	63,700~95,500 (800~1,200 Gauss)	×	40~80 (0.5~1 Gauss)	○
ハンドパッドの開閉部磁石 (DC)	28,700~63,700 (360~800 Gauss)	×	0~240 (0~3 Gauss)	○

※ 判定の ○ は影響無し、△ は影響有り、× は製品・機種によって異なります。

※ 上表の数値は目安です。磁界の強さは磁気製品・電気製品の機種により強弱が異なります。

※ 磁界の強さは距離の二乗に反比例しますので、密着したまま近づいた状態でもその数値は大きく異なります。

（４）振動について

強い振動を加えないでください。時計の進み・遅れの原因になります。（注：場合によっては、点検調整修理が必要になります。）

（５）温度について

常温＜5℃～35℃＞から外れた環境では、機能が低下したり停止する場合があります。

（６）化学薬品・ガスなどについて

ガス、水銀、化学薬品など（シンナー、ソリッド、各種溶剤、接着剤、塗料、薬品、香水、化粧品類）が触れるとケース、バンド、文字板の変色や樹脂部品では、変色、変形、破損する場合がありますので十分ご注意ください。

（７）商品及び付属部品について

△ 注意

① 商品の分解・改造はしないでください。

△ 警告

② バンドやピン等は乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談ください。

（８）高温下での使用

△ 注意

サウナなどの高温下での装着は、火ぶくれ（火傷）になる可能性がありますので、ご使用をお避けください。

△ 注意

体質により皮革・金属・軟質及び硬質プラスチック・ウレタンなどに皮膚がかぶれたり、肌に異物が認められたときは、直ちにご使用を中止し、専門医にご相談ください。

商品によっては、針・文字板等にルミナスライトを使用しているものがあります。ルミナスライトは放射性物質を含まない安全な蓄光塗料（光を蓄えて発光する塗料）です。太陽光や照明光等の光を塗料に蓄えて発光します。なお、蓄えた光を発光させているので、輝度（明るさ）は時間の経過とともにだんだん弱まってきます。又、光を蓄える際、ガラスの形状・蓄光材の厚み・まわりの明るさ・時計との距離・光の吸収度などの諸条件により、発光の強さや時間には誤差が生じます。光の蓄え方が弱い場合、発光が弱かったり発光時間が短いことがありますのでご注意ください。

◆ 耐水処理バンドについて

◆ 長くご愛用いただくために

△ 注意

- （１）ケース・バンドのお手入れ
- ① ケース・バンドなどに付着した汚れや水分は時計機能を損なったり、皮膚の弱い部分に付着して皮膚を汚す原因となります。こすると色落ちすることがありますのでご注意ください。強い光、紫外線をあてると、変色の原因となります。
- （２）ケース・バンドの交換
- 汚れや水分をそのままにしておくと、腐食、サビの原因となります。防水性を下げる原因となります。柔らかい布などで拭き取ってください。変色など変色の原因となりますので、使用しないでください。
- （３）金属バンド
- 汚れや水分をそのままにしておくと腐食・サビの原因となり、バンドの強度、耐久性を下げる原因となります。また、汗口を汚す原因となります。石鹸水をつけて柔らかい歯ブラシで部分洗いをしてください。この時、非防水時計は水が時計本体にからないように注意してください。
- （４）皮革バンド
- 汚れや水分をそのままにしておくと腐食・サビの原因となり、バンドの強度、耐久性を下げる原因となります。また、汗口を汚す原因となります。石鹸水をつけて柔らかい歯ブラシで部分洗いをしてください。この時、非防水時計は水が時計本体にからないように注意してください。

- 汚れや水分で色落ちすることがあります。バンドの耐久性を下げる原因となります。また、汗口を汚す原因となります。柔らかい布などで拭き取ってください。変色など変色の原因となりますので、使用しないでください。
- （５）ケース・バンドの交換
- 汚れや水分をそのままにしておくと腐食・サビの原因となり、バンドの強度、耐久性を下げる原因となります。また、汗口を汚す原因となります。石鹸水をつけて柔らかい歯ブラシで部分洗いをしてください。この時、非防水時計は水が時計本体にからないように注意してください。
- （６）金属バンド
- 汚れや水分をそのままにしておくと腐食・サビの原因となり、バンドの強度、耐久性を下げる原因となります。また、汗口を汚す原因となります。石鹸水をつけて柔らかい歯ブラシで部分洗いをしてください。この時、非防水時計は水が時計本体にからないように注意してください。
- （７）皮革バンド
- 汚れや水分をそのままにしておくと腐食・サビの原因となり、バンドの強度、耐久性を下げる原因となります。また、汗口を汚す原因となります。石鹸水をつけて柔らかい歯ブラシで部分洗いをしてください。この時、非防水時計は水が時計本体にからないように注意してください。

◆ 保証とサービスについて

※保証書は必ずお読みください。

1. 保証について
- 本製品が保証期間内に取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万一故障が生じた場合には、保証書に従って修理・調整いたします。保証書を添えてご購入店又はウオッチ・ウェアラブル修理センターにご相談ください。保証内容は保証書に記載されていますので必ずお読みください。
2. 補修用部品の保有期間について
- この時計の補修用部品の保有期間は、生産終了後通常7年間を基準としています。
- ※補修用部品とは、製品（時計）内部の時間機能のための機械体（ムーブメント）の部品です。ケース・ガラス・文字板・針・バンド・りゅうすなど製品の機能維持と直接関係がない外装部品は含まれておりません。これらの外装部品は、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
3. 修理可能期間について
- 原則として、正常なご使用であれば補修用部品の保有期間中の修理は可能です。ただし、修理可能期間は、ご使用条件・環境で著しく異なり、時計の状態によっては初期精度の復元が困難な場合がありますので、修理ご依頼の際は、現品持参の上、ご購入店とよくご相談ください。
4. 転居・贈与の場合について
- ご転居・贈与品など、ご購入店が遠隔地となり、保証サービスが受けられない場合には、お客様相談室にご相談ください。
5. 商品に関するお問い合わせについて
- 商品に関するお問い合わせは、お客様相談室へお問い合わせください。
6. その他お問い合わせについて
- その他の保証とサービスについてご不明の点がありましたら、お客様相談室へお問い合わせください。

＜電話でのお問い合わせ先＞

- お客様相談室
- TEL: (042) 847-3380 09:30~17:00 月曜日～金曜日（祝日、弊社指定の休日は除く）
- 修理品の送り先
- ウオッチ・ウェアラブル修理センター
- 〒181-8501 東京都目黒区日野42-1-8 セイコーエプソン（株）
- TEL: (042) 847-3378 FAX: (042) 847-3381 09:30~17:00 月曜日～金曜日（祝日、弊社指定の休日は除く）
- 修理センターへのお持ち込みによる修理受付は承っております。修理のご相談はお買い上げの販売店、若しくはお客様相談室へご相談ください。
- ＜ホームページによる最新情報のご確認＞
- http://www.orient-watch.jp/support/repair/
- ＜保証責任者＞
- 販売元: エプソン販売株式会社
- 本社/〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー
- TEL: (03) 5915-5211
- 製造元: セイコーエプソン株式会社
- 本社/〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5
- TEL: (0266) 52-3131